

プログラミングスキルを習得したい方へ

最短でスキルを習得する10の法則

目次

p.3 …… はじめに

p.5 …… プログラミングを学習する前に

p.20 …… プログラミングを学習する上での心構え

p.28 …… プログラミングの勉強をする上で身につけておくべき力

p.35 …… 最短でプログラミングスキルを習得する10つの方法

p.48 …… プログラミングを学んだ先の未来

p.54 …… 最後に

はじめに

本コンテンツは、これからプログラミングを学ぼうと考えている方、プログラミングを学んでみたけど挫折してしまった、プログラミングに興味あるけどどのように学んで良いのか分からない。といった方々のお悩みを解決する、プログラミングスキルを最短で身につけるための攻略本です。

現在、IT業界は深刻な人材不足に悩まされています。IT技術の発展、労働人口の減少、様々な要因が重なり、IT業界に人手が足りていないのが現状です。

そしてこの状況は今後も回復するのではなく、悪化するという予測が立てられています。事実、IT人材の確保に悩んでいる企業はたくさんあります。

こういった人材不足の背景を踏まえ、政治的にも、プログラミング教育の必修化を推し進める動きがありました。論理的思考力をつけるという狙いで行われるプログラミング教育ですが、これまでの義務教育を受けてきた人たちの知らない内容を、これから生きる子どもたちは必須科目として学ぶことになります。

はじめに

つまり、プログラミングスキルは、これからの時代を生きる上で必要なスキルと言えるでしょう。

ではこのプログラミングスキル、一体どうやって身につけるのでしょうか？

本コンテンツでは、プログラミングスキルを身につける上での最短距離を走るにはどうしたら良いのかをご紹介します。挫折する人が多いと言われるプログラミング学習ですが、その中でしっかりとスキルを習得している人がいるのも事実です。その差は何なのか。

どのように勉強したら挫折せずにプログラミングスキルを習得することが出来るのか。

本コンテンツが、これからプログラミングスキルの習得を目指す方にとっての攻略本となればと思います。

「プログラミングを学習する前に」

プログラミングを学習する前に

まずは実際に学ぶ前の準備です。

準備を怠ると、せっかく学び始めても、ちょっとしたことで勉強するのが嫌になってしまうことがあります。是非ここで挙げる項目はしっかりと抑えた上で学習を始めましょう。

学習環境は整っていますか？

まずはやることは学習環境を整えることです。

プログラミング学習を進めていく上で、学習環境を整えることは必須です。どんな環境でも勉強すること自体は可能かもしれませんが、学習し続けることが出来るかどうかは学習環境によって大いに左右されます。

下記に学習環境のチェック項目をまとめたので、まずは自分の学習環境と比較してみてください。

学習環境チェック項目

- ☐ 快適なWi-Fi環境はあるか
- ☐ テンションの上がるパソコンを使っているか
- ☐ 集中できる場所を確保できているか

快適なWi-Fi環境はあるか

Wi-Fi環境が整っているのかどうかはプログラミング学習をする上で重要です。
プログラミング学習を進めていく上で、インターネット接続は不可欠だからです。

皆さんもこんな経験あるのではないのでしょうか。

「ページの読み込み速度が遅くてイライラする。」 「パソコンが作業途中で固まる」
読み込み速度や、パソコンの処理速度は、ちょっとした時間の違いですが、少なからずあなた自身の感情にマイナスな影響を与えます。

1度だけだったり、改善するのが分かっていたら、大きな影響は無いかもしれませんが。しかしプログラミングの学習するというのは一時的なことではなく、長期的に捉える必要があります。読み込み速度の遅い環境で学習を続けるというのは、あなたのストレスを増幅させます。そのストレスが、あなたをプログラミング学習から遠ざけるのです。

テンションが上がるパソコンを使っているか

何を言ってるんだと思う方いらっしゃるかもしれません。ただ、これが重要なのです。

普段からパソコンを使い慣れている方は、意識する必要はありませんが、普段パソコンを使い慣れていない方にとっては大事なことです。

パソコンに触ることに慣れていない方は、まず第一にパソコンに触れることを楽しむ必要があります。パソコンに触ることを楽しいと思えば、パソコンを開くことを簡単に習慣化することが出来ます。

プログラミングスキルを習得するのに近道はありません。一つずつ着実に正しい順序を経ていくことが大切です。パソコンに触れることに慣れていない方は、まずパソコンに触れることに慣れるのが大事。そのためにはテンションのあがるパソコンを使う必要があります。

触りたくなるパソコン、触ってて気分の良いパソコンを持つことで、自然とパソコンに触れることが楽しくなり、プログラミング学習の習慣化に繋がります。

集中できる場所に身を置いているか

勉強をする上で環境作りは非常に大切です。

集中できる環境で勉強することで、効果的に知識を習得することができます。

集中できる環境というのは人によって違いがあるので、こんな環境がおすすめですよと断言することは出来ませんが、みなさんこれまで学校のテスト勉強や、試験等で、勉強というものには触れてきた方がほとんどだと思います。その時のことを思い出して、どういう環境下で勉強するときに集中できたのかをまずは振り返ってみることをおすすめします。

分からない場合は、これから勉強を進めていく中で、その都度振り返りを行い、自分が集中できる環境はどのような環境なのかを知ることが大切です。

自分のことを知り、自分にあった環境を作り出しましょう。

身近にプログラミングを理解している人はいますか？

これはプログラミング学習を進めていく上で、必須と言っても過言ではありません。

プログラミング学習を進めると、分からないところ、自分では解決できない、解決するには膨大な時間を費やすだろう問題に直面することが確実にあります。「自分では正しいコードを書いているつもりなのに、なぜか思い通りの動きにならない。」こういったことが必ず発生します。

そんなときにプログラミングが分かる人が近くにいるかどうかは非常に重要です。

どれだけ調べても、どれだけいろんな方法を試しても問題が解決できない。そういったときに、プログラミングが分かる人に直接聞くことにより、数分で解決する。嘘のように思えるかもしれませんが、実際によくある話です。

「半角スペースを入力しないといけないところに全角スペースを入力してしまっている。」「最後の ; が書かれていない。」など、初心者にありがちなケアレスミスを経験者は知っているからです。

身近にプログラミングを理解している人はいますか？

そして、正しく、生きた知識を得る上で、プログラミングを理解している人が身近にいるのかどうかは非常に重要です。

参考書、ネット、様々なツールを利用してプログラミングを学ぶことは可能です。どれも素晴らしいツールであることは間違いありません。

しかし、どれも一方的なツールであり、最短距離でプログラミングを習得するためには役不足。実際にプログラミングの現場で仕事をしている人がどのようなコードを書いているのか、どのような思考をしているのかを知るには、実際に出来ている人を見ることが一番の近道です。

是非これから勉強を進めようとしている方は、身近にプログラミングを理解している人がいないか探してみましょう。

どんな言語を勉強すれば良いのか理解していますか？

世の中には様々なプログラミング言語が存在します。

その中であなたのやりたいことを実現できる言語はどれでしょうか？

しっかり理解して勉強を進めていますか？

勉強をしたものの、自分のやりたいことを実現できる言語ではなかった。別の言語のほうが需要があり、簡単に実現できる言語だったと、あとから知っても遅いのです。

もちろん勉強したことが無駄になることはないと思いますが、効率よくやりたいことを実現する上で、こういったことが発生すると遠回りになってしまいます。

このようなことが発生しないためにも、最初の言語選びは重要です。

どんな言語を勉強すれば良いのか理解していますか？

では、どのように言語選びをすれば良いのでしょうか？

一番はプログラミング言語を理解している人に聞くのが良いでしょう。もしそういった人がいなければインターネットでしっかりと調べてください。

言語選定の判断材料は、人それぞれありますが、どのような基準で学習する言語を選んだら良いのか分からない方は、まず下記のチェック項目を確認してみてください。

言語選定時のチェック項目

- ☐ 自分のやりたいことが実現できる言語なのか？
- ☐ 初心者でも取り組みやすい難易度なのか？
- ☐ その言語に需要はあるのか？
- ☐ その言語の情報は充実しているのか？

どんな言語を勉強すれば良いのか理解していますか？



自分のやりたいことが実現できる言語なのか？

上記でもお伝えしましたが、実際に勉強をしたけどやりたいことを実現できなかった。間違った言語選びをしているとそういったこともありえます。

例えばスマートフォンアプリを作りたいけど、ウェブサービスで利用する言語を勉強していたといったケースです。

もしやりたいことが明確なのであれば、それを実現するためにどの言語を勉強したらいいのかをしっかりと調査してから勉強に取り掛かりましょう。

初心者でも取り組みやすい難易度なのか？

プログラミング言語の中で、一番最初に勉強する言語は重要です。

その言語次第で、勉強を継続できるかどうかが決まるからです。

例えば数学の勉強を想像してください。小学生の子に対して、高校生が勉強する内容を同じように伝えても理解が難しいですよ？そんなことをやっては、みんな数学の勉強を諦めてしまうでしょう。小学生は小学生が理解できる内容を勉強し、まずは土台を構築します。そして徐々に難易度を上げていくものです。

これはプログラミング言語の学習でも一緒です。理解しやすい言語と、理解するのに時間のかかる言語があります。

比較的理解しやすいプログラミング言語と言われているのは、PHP/Pythonあたりです。また、プログラミング言語とは異なりますが、マークアップ言語として、HTMLやCSSに触れておくと、プログラミング言語の勉強は比較的スムーズに出来るのではないかと思います。

どんな言語を勉強すれば良いのか理解していますか？



その言語に需要はあるのか？

自分のやりたいことが実現できればOKという方にとっては、これを考える必要はありませんが、身につけたスキルを使ってこれから仕事を獲得していきたいと考えている方にとっては、このチェック項目は非常に重要です。

無数のプログラミング言語がある中で、仕事として需要のある言語はある程度限られています。言語によって報酬額も変わります。学ぶ目的によっても異なりますが、仕事に活かしていきたいという方は、需要の多さ、今後の将来性、報酬の高さをしっかりと調査して言語選定をすることをおすすめします。

どんな言語を勉強すれば良いのか理解していますか？

その言語の情報は充実しているのか？

勉強を進めていく中で、情報の量は非常に重要です。

先ほどもお伝えしましたが、勉強を進めていく上で分からないこと、自分で解決できないことは必ず発生します。そういったときにネット上で調べることもあるでしょう。その際に情報量が少ないと解決できるものも出来なくなってしまうます。

では、情報の充実度についてはどのように判断すれば良いのかということですが、一つの方法として、本屋に行ってプログラミング言語のコーナーを見てみることをおすすめします。そのコーナーに十分な量の参考書や情報本が並んでいるとしたら、ネット上にも情報は充分あるでしょう。是非一つの判断材料として情報量もチェックしてみてください。

どんな言語を勉強すれば良いのか理解していますか？

その言語の情報は充実しているのか？

勉強を進めていく中で、情報の量は非常に重要です。

先ほどもお伝えしましたが、勉強を進めていく上で分からないこと、自分で解決できないことは必ず発生します。そういったときにネット上で調べることもあるでしょう。その際に情報量が少ないと解決できるものも出来なくなってしまうます。

では、情報の充実度についてはどのように判断すれば良いのかということですが、一つの方法として、本屋に行ってプログラミング言語のコーナーを見てみることをおすすめします。そのコーナーに十分な量の参考書や情報本が並んでいるとしたら、ネット上にも情報は充分あるでしょう。是非一つの判断材料として情報量もチェックしてみてください。

「プログラミングを習得する上での心構え」

プログラミングを習得する上での心構え

ここではプログラミング学習を進めていく上での心構えをお伝えします。

簡単な気持ちでプログラミングの学習をしようと思った方にとっては耳の痛い内容になるかもしれませんが、しっかりと理解しておいた上で学習をしていただきたいので、ここでお伝えします。

① スキルを習得するのに〇〇時間かかる

「どれくらいの時間をプログラミング学習に充てたら習得できますか？」

よくこういった質問を受けることがあります。正直なところ分かりません。自分自身がどれくらいのレベルを目指すのかによっても変わるでしょう。

ただ、一つのものさしとして「1万時間の法則」というのをご存知でしょうか？

どんな分野においても1万時間を費やすことで、その分野のエキスパートになれるというものです。

例えば、1日8時間を学習に充てることができる人、その人が1万時間を費やすためには計算上1,250日が必要となります。約3年半の月日を費やす必要があるということです。毎日8時間、果たしてこれは可能でしょうか？自信を持って可能です！と言い切れる人は、ほとんどいないのではないのでしょうか？

こちらはあくまでエキスパートになるために必要な時間数です。

① スキルを習得するのに〇〇時間かかる

目指すレベルにもよりますが、プログラミングのスキルを習得する上で1万時間も必要ありません。

例としてPHPの習得には、300時間ほどの時間が必要だと言われています。（整えられたカリキュラムのもと、テキストがあり、身近に聞ける人がいることが前提です。）

300時間であれば、1日3時間の時間を費やせたとして約3ヶ月間です。

しっかり毎日継続して約3ヶ月です。一見3時間を3ヶ月間なら出来そうだなと感じる方もいると思います。ただ、仕事で疲れて帰ってきた日も、せっかくの休みの日も、友人との飲み会がある日も。本当に出来ますか？

自分自身のライフスタイルにあった無理のないスケジュールを組むことは、プログラミングスキルの習得には不可欠です。自分にあったペースで無理のない学習を進めることをおすすめします。

② プログラミングは簡単じゃない

これから何か新しいことを勉強しようと思っている人にとって、プログラミングの勉強を選択することはもちろんおすすめです。

ただ、スキル習得はそんなに簡単なことではありません。

しっかりとした学習環境で、しっかりとした学習方法で勉強を進めないと、正しい知識をつけることは出来ません。

プログラミングスキルの習得で一番の壁として立ちはだかるのは【継続出来るかどうか】です。

② プログラミングは簡単じゃない

しっかりと勉強を続けることで、着実に知識を習得することは出来ますが、勉強中に継続を辞めるのに十分な壁は何度も立ちはだかります。それを幾度と越えた結果、スキル習得まで辿り着くことが出来ます。

スキルの習得に向けて走り出しても、これらの壁に負けないためにはどうしたら良いのでしょうか？
まずは目的を明確に決めることです。何のためにプログラミングスキルを習得するのか。なぜ勉強するのか。目的が明確で、自分自身にとって叶えたいものであれば、壁は乗り越えられるでしょう。

言語自体の理解が難しいというのもありますが、一番は継続して学習を続けられるかというのが、プログラミングスキルの習得が簡単ではない理由です。しっかりとした明確な目的を持って、どんな壁も乗り越えていきましょう。しっかり学習すれば確実に知識を習得することが出来ます。それがプログラミング学習です。

③ プログラミング学習に終わりはない

これはプログラミングに限ったことではありません。

IT業界は現在ものすごいスピードで変化しています。IT業界に身を置かない人でも、IT技術の進歩を感じていることでしょう。IT業界の最前線で仕事をしていくのであれば、技術の進歩に合わせて自分自身のレベルも上げていかなければなりません。

もちろん、一度プログラミングスキルを習得したら、習得したスキルを使い続けることは可能です。使えなくなることは滅多にありません。（稀に仕様がかわったりして使えなくなることもあります。）

ただ、時代の変化に合わせて新しい言語も出てきます。数十年前を思い出してみてください。今は当たり前のスマートフォンの普及、それに伴うスマートフォンアプリの登場。これだけでも十分な変化と言えるのではないのでしょうか。

③ プログラミング学習に終わりは無い

ただ、新しい言語が登場するということは、その都度しっかりとしたスキルを習得することで、第一線で仕事し続けることが可能だということです。

そのスタートラインとしてまず1つの言語を習得することが大事なのです。1つの言語を習得することで、他の言語の理解スピードは圧倒的に上がります。

IT業界は様々な変化があります。まずは1つの言語をしっかりと習得し、変化を楽しむことが出来るようになれば、これから先、非常に楽しい人生を歩むことが出来るでしょう。

「プログラミングの勉強をする上で
身につけておくべき力」

プログラミングの勉強をする上で身につけておくべき力

プログラミングの勉強を進めていく上で、必要な力が3つあります。

これらをしっかりと持っていれば、プログラミングスキルの習得まで行ける可能性は格段に上がります。プログラミングの勉強を実際に開始する前にも、日常から意識できる部分ですので、是非日常の中で意識してみてください。

① 集中力

まず1つ目は「集中力」です。

勉強をする上で、集中力は欠かせません。

何事にもそうですが、長い時間勉強すれば良いというものではありません。どれだけ濃い時間を過ごすかが大切です。300時間程でPHPの習得が出来ると前述しました。ただ、時間をかければ習得できるというものではありません。しっかりと集中して勉強するという前提の300時間です。

では、集中力を上げるためには何をしたら良いのでしょうか。

集中力を上げるにはまず自分自身を知ることが大事です。自分が集中力を発揮できているときはどんなときなのでしょう？それが分かるとONとOFFのスイッチの切り替えができ、効率よく勉強を進めることができます。

① 集中力

「ゾーン」とか「フロー状態」という言葉をご存知ですか？

極限まで集中力を高めると、人は「ゾーン」という状態に入ると言われています。

例えばこんな経験をしたことはありませんか？

- ・ スポーツの試合で気づいたら終了時間になっていた。
- ・ 車を運転の際、気づいたら目的地に到着していた。
- ・ 自分でも驚くようなスピードで仕事を片付けていた。

時間の感覚がなくなるほどに、何かに集中し没頭している状態を「ゾーン」といいます。

リラックスしているけど、ものすごく高い集中力を発揮しているとき、それはもしかしたら「ゾーン」に入っている状態かもしれません。

どのような条件の下でこの状態になれるのかを自分なりに分析し、再現性のあるものに出来たら、勉強が捗ること間違いなしです。

② 継続力

心構えの部分で、プログラミング学習において一番の壁として立ちはだかるのが【継続出来るかどうか】だとお伝えしました。

継続力はプログラミング学習において必要不可欠です。1日や2日勉強して身に付くものではありません。何日も、何ヶ月も、場合によっては何年も学習し続けることによって、より高いスキルを習得することが出来ます。

何度もお伝えしているようにプログラミングスキルを習得することは簡単なことではありません。最適な環境で、最適な順序で学ぶことで、継続して勉強することが出来ます。そして何より、プログラミング学習を楽しむことが大事です。学ぶ目的を明確にして、スキルを習得した自分にワクワクしながら学習を進めていきましょう。

③ 検索力

プログラミング学習を進める上で、「検索力」は最も大事な力と言っても過言ではないでしょう。

検索力とは、分からないことがあったときに、自分で調べて解決策を見つけ出し、解決まで至ることができるかどうかということです。

何度もお伝えしているように、プログラミング学習の際に、わからないことは必ず発生します。そういったときに自分で解決まで至ることができれば、プログラミング学習を非常にスムーズに進めることができます。

③ 検索力

ではこの「検索力」はどういった方法で身につけることができるのでしょうか？

まずは普段から何か分からないことがあったときに、検索するという癖を付けることが非常に大切です。普段の生活の中でふと疑問に思ったこと、ほんの些細なことでも結構です。とにかく分からないことを検索し続けることで、検索力を向上することは可能です。

自分の抱えている疑問点を解決するためには、どのようなワードを使って検索すると良いのかが分からず、最初は自分の求める情報にたどり着くのに時間がかかるかもしれません。しかし日常の中で検索することが癖付けられていれば、自然と検索慣れします。自分の求める情報にたどり着くスピードは格段に上がることでしょう。

「最短でプログラミングスキルを習得する 10つの方法」

最短でプログラミングスキルを習得する10つの方法

ここまでご紹介した通り、プログラミングスキルの習得は簡単なものではなく、しっかりと習得するためには時間も労力もかかります。今更プログラミングの勉強を始めて実際に役に立つのか。ちゃんと習得まで行くことができるのかと不安に思う方もいらっしゃると思います。

ここでは、最短でプログラミングスキルを習得する方法についてご紹介します。

是非これからプログラミング学習を始める方、すでにプログラミングの勉強をしている方は、参考にしてみてください。

① 自分の作りたいサイトを作る

どうせサイトを作るなら、自分の作りたいサイトを作りましょう。

誰かに指導を受けて、決まった流れで決まったサイトを作ることも良いですが、自分の作りたいサイトを作りながら学習を進めたほうが楽しく学習を進めることができると思います。

また、決まったサイトを作り一連の流れを学んだとしても、自分の作りたいサイトを作れるようになるとは限りません。自分の作りたいサイトを作るという前提で学びを進めていくことで、本当に自分が身につけたいスキルを習得することが可能となります。

ただ、その際に自分の作りたいサイトが自分のレベルに合っているのかは、経験者に確認してみることをおすすめします。

② 孤独を楽しむ

孤独を楽しみましょう。

1人で勉強する方は、孤独を感じることもあるでしょう。勉強してスキルを習得できるのか不安に思うこともあるでしょう。そんなときに孤独を楽しめるかどうかは重要です。

孤独感を最小限に抑える方法として、朝の時間を大事にするというのがあります。

朝型人間になり、日の光を浴びることで、セトロニンと呼ばれる成分が体内に分泌し、心が安定して勉強に取り組むことができます。

是非、不安になってしまうことがよくあるという方は、早起きの習慣をつけてください。

また、孤独を楽しむことは大切ですが、同じ目標を持つ仲間の存在も非常に大切です。

プログラミング学習は1人パソコンに向かって行うことが多いです。同じように学ぶ仲間がいて、学んでいることを共有したり、自身の学びを深めることにつながります。

孤独を楽しみつつも、是非仲間との時間も大切にしてください。

③ 参考書は参考にしない

プログラミング学習を進める上で、とりあえず参考書を買おう。

そう思う方多いのではないのでしょうか？

実現したいことが全て書いてあるなら、その参考書を買って進めるのが良いでしょう。

ただ、その参考書にはそれ以上の内容はありません。参考書には正しい情報が書いてあります。しかしそれ以上に新しい情報が増えることはありません。

今はネット検索をすれば、無数の情報が出てきます。プログラミングの学習において必要な情報はネット上に無数にあります。実現したいことを検索してみてください。きっと実現したいことをどのような手順で実現できるか書いてあるサイトが出てくるでしょう。

もちろん欲しい情報にたどり着くまでに時間はかかるかもしれませんが、新しい情報、関連する情報、様々な情報を検索の中で学ぶことが出来ます。

参考書も便利なツールですが、参考書だけに頼りすぎず、学習を進めていきましょう。

④ 覚えるのではなく理解する

プログラミング学習を進めていく中で意識したほうが良いのは、「覚える」のではなく「理解する」という点です。丸暗記しても意味はありません。

学習を進めていく中で、様々な知識が付くでしょう。その知識をフル動員して、一つのホームページを作成することになります。作成の中で、一つ一つの言語の特性、役割を理解しているかどうかは非常に重要です。

ホームページを制作する上で、完成形は決まっていますが、完成までのアプローチの仕方はそれぞれが持つ知識、経験によって異なります。もちろん知識を取得する上で、あらゆるコードを丸暗記することも大切です。しかし、その一つ一つのコードがどのような役割を持っていて、どのようなシーンで使うのかと言うのをしっかりと理解しているかどうかの方がより重要です。

④ 覚えるのではなく理解する

プログラミング学習をする際は、まず1つのサイトを作り上げることになるでしょう。作り上げる過程において、インターネット上で情報を得て、コピーアンドペーストを多用して作ることももちろん可能です。

しかし、果たしてその方法でサイトを完成させたあとに、別のサイトを作ることは可能でしょうか？
きっとまたインターネット上で情報を得て、コピーアンドペーストをして作るというやり方でしか作ることが出来ないでしょう。そのコピーしたコードがどういう内容で、一つ一つのコードがどういう意味なのかをしっかりと理解していれば、そのコードを使いこなし、別のサイトを作ることも容易になります。

是非学習の際は、「理解する」ということを意識してください。

⑤ 身の程を知る

いきなり難しいサイトを作ることは大変困難です。

分からないことばかりで途中で挫折してしまうでしょう。自分のスキルレベルに合わせた学習をすることが、継続したプログラミング学習に繋がります。土台をしっかりと構築した上で、応用があるので、しっかりと段階を踏んで勉強していきましょう。

ただ、この学習のステップを自分一人で考えることは非常に困難です。なぜならプログラミング学習の経験がないのだから。学習のステップを作り上げるためには、実際にプログラミング学習の経験があったり、こういった流れで学習を進めていくのが効率的なのかをしっかりと理解した人が近くにいる必要があるでしょう。

闇雲に勉強してプログラミングスキルを身につけるのは非常に効率が悪いです。

常に自分の現在地を把握し、今何を勉強すべきなのか明確に出来ている方が圧倒的に学習の効率が上がるので、自分の現在地の把握は徹底して意識してください。

⑥ 様々プログラムを研究する

日常の中でどれだけ常にプログラミングのことを考えているのかは、習得スピードを上げる上で非常に大切です。

現在は世の中のあらゆるものにプログラムが組みられています。

みなさんが利用しているパソコンはもちろん、信号や自動車、自動改札機や家電製品など、様々なものにプログラムが組みられています。

日常のあらゆるところに存在するプログラムが組み込まれたものに、どのようなプログラムが組みられているのかを考えることが習得スピードを高めます。ここでは合っている間違っているというのは関係ありません。

どういう仕組みで動いているのか思考することが大事なのです。

⑦ 1つのプロダクトを作って満足しない

プログラミング学習の中で、1つのホームページを完成させることが出来たとします。そこで満足しないでください。作ったサイトをどんどんカスタマイズしていく、もしくは、別の新しいサイトの作成に取り掛かってください。

1つのサイト作る上で学んだことは恐らく忘れます。学ぶことをやめないでください。いくつものサイトを作ることで、制作スピードは速くなり、どんどん出来ることも増えていくでしょう。

特に、実際に制作業務で仕事を獲得していきたいと考えている方は、学ぶことを辞めず、どんどん新しいことに挑戦していっていくことがおすすめです。

1つのサイトを完成させる頃には、プログラミング言語の仕組みを理解できているかと思います。また、分からないことがあったときには調べて自分で解決することが出来るようになっていくので、より制作を楽しんでやる事が出来ます。是非、制作することをやめずに、どんどん新しい知識の習得を目指しましょう。

⑧ 分からなければすぐにカンニングする

勉強していく中で分からないことは必ずあります。

自分の今持っている知識の中だけで何かを作ろうと思っても、なかなか思い通りにいかないこともあると思います。

これは初学者のみならず、現役のエンジニアも同じです。何か新しい制作物の依頼を受けた時、今まで自分が作ったことのないものを受注することがあります。作ったことの無いものを作る時、エンジニアはたくさん調べます。自分の知識の中で考えていても時間が過ぎていくだけということが分かっているのです、どんどん調べます。

勉強していく中で分からないことはどんどん調べてください。そして、調べて出てきたものと自分のサイトに当てはめてみて動けばOK、動かなければNGです。OKであればそこに書いた内容を一つ一つ解読していきましょう。そうすることで理解が深まります。

⑨ どうしても分からなければ飛ばしてOK

調べて作って動くようになったけど、何書いてあるか意味がわからない。

こういった状況は勉強していく中で多々訪れることでしょう。意味がわからないことは飛ばしましょう。これはこういうもんだと割り切ることも時には大事です。

無責任な言い方になるかもしれませんが、極論プログラムは動けばOKなのです。コードの書き方を全部理解できているのかどうかは一旦脇において、仕様書通りに動けばプログラムとしては完成です。

現時点で理解できないことも、学習を進めていく中で理解できるようになります。今の自分で理解できないものは割り切って、どんどん先に進んでいく。そうすることで効率的に学習をすすめることができます。

⑩ 毎日プログラミングに触れる

勉強するペースに関してです。

週に1回7時間勉強する人、毎日1時間勉強する人、1週間で7時間という勉強時間は同じですが、どちらの人が効率的に知識を習得することが出来るでしょうか？

私は毎日1時間勉強する人だと思います。

人の記憶力はそんなに優れていません。正直、勉強したことは反復学習していかないとすぐに忘れてしまいます。1週間に1回勉強する場合、きっと勉強した内容を思い出すことからスタートするでしょう。この思い出す時間、非常に大事ではあるんですが、もったいないです。

習慣化をしていくことも踏まえ、毎日コツコツと勉強していくことをおすすめします。

「プログラミングを学んだ先の未来」

プログラミングを学んだ先の未来

ここまでプログラミングスキルを習得するためにはどのような力が必要なのか、どのような環境だと早く身につけることができるのか等をご紹介させていただきました。

ではプログラミングを学んび、スキルを習得した先にはどのような未来が待っているのでしょうか？大きく紹介すると、以下の項目です。

プログラミングスキル習得により得られる未来

- ☐ 好きな場所で、好きな時間に仕事ができる。
- ☐ 時給3,000円以上の仕事ができる。
- ☐ 仕事に困ることがなくなる。
- ☐ 今の仕事を継続しながらも副収入を得ることが出来る。

好きな場所で、好きな時間に仕事ができる

プログラミングスキルを習得することで、自分の好きな時間に、好きな場所で仕事ができるようになります。もちろん例外もありますが、基本的にWi-Fi環境が整っていれば可能です。

今はインターネット上で一連の業務を全て完結することができるからです。代表的なサービスとしてはクラウドソーシングと呼ばれるものです。

クラウドソーシングを利用することで、インターネット上で仕事を獲得し、依頼者とのやり取り、報酬の支払い、受け取りまでの一連の流れを完結することが可能となります。

こういったサービスを利用することで、海外にしながら日本の仕事をしたり、子育てをしながら自宅で仕事をしたりと、働き方の選択肢を大きく広げることが出来ます。プログラミングスキルを活かした仕事は、こういったクラウドソーシングの中で募集している案件のメイン業種と言えます。

時給5,000円以上の仕事も可能

プログラミングスキルを習得することで、高単価な仕事を受けることも可能になります。あなた自身がどのようなことが出来るのか、どのようなスキルを有しているかによって、単価が決まります。そこには年齢はほとんど関係ありません。

時間をお金に変えるという考え方から、自分のスキルをお金に変えるという考え方にシフトすることが可能なのがプログラミングです。

もちろん最初から高額の仕事が獲得できるかといえば、なかなか難しいでしょう。最初は少額の案件からコツコツ行うことで、経験を積み、自身のスキルを向上させることで、より大きな案件の獲得を目指すことが可能になります。

仕事に困ることがなくなる

冒頭で触れたように、IT業界は現在圧倒的な人材不足です。この人材不足は今後も悪化していくと言われています。

こういった背景もあり、しっかりとプログラミングスキルを習得していることで、副業としてだけでなく、本業としてIT企業に就職することも可能でしょう。

これは決して、一時的な話ではなく、今後人材不足が続くということから長期的な視点で見ても、プログラミングスキルを身につけている人は、仕事を獲得し続けることが出来ると言えます。

これからの時代を生き抜くためにITスキルを身に付けておくべきです。特に、人生100年時代と言われる現代、将来的には、ほぼ全ての年代の方にITスキルは求められることになるでしょう。

今の仕事を継続しながら副収入を得ることが出来る

上記にも書いたとおり、プログラミングの仕事は、インターネット上で完結することが可能で、時間や場所を問わず仕事することに非常に向いています。

つまり、今現在、本業があるけどなかなか収入が上がらず不満のある方、是非プログラミングに目を向けてみてはいかがでしょうか？特に本業の時間が不規則だったり、急な出勤があったりする方にも、自分で時間のコントロールが出来るプログラミングスキルを利用した副業はおすすめです。

「最後に」

これからプログラミングを勉強しようと思っている人へ

プログラミングについて勉強し、しっかりとしたスキルを習得することができれば、今後の人生において大きくプラスの変化をもたらすことが出来るということをお分かり頂けたかと思います。

もしかしたら、

「本当にプログラミングの勉強をして、仕事につなげることが出来るのかな？」とか、

「プログラミングなんで自分には難しすぎて理解できない」とか、

「パソコン初心者が本当に技術を習得出来るのかな？」とか、

思っている人がいるかもしれません。

もちろん何度も言いますが、プログラミングのスキルを身につけるには、努力が必要です。
プログラミングの勉強は挫折する人が多いと言われていることも事実です。

ただ、最適な環境で、最適な順序で、最適な指導のもとでプログラミング学習を進めることで、プログラミングのスキルは着実に身に付けていくことが可能です。プログラミングを勉強する上で最も大事だと言われているのは環境です。最適な環境のもと、プログラミング学習を進めていくことをおすすめします。

そして、是非プログラミングスキルを習得し、自分自身の可能性を広げていきましょう。

筆者プロフィール



ワシヅマサヤ

GAKOPULA株式会社 取締役

ウェブトレプラス 代表

テックジム名古屋大須校 代表

営業職から一転、ITの世界に飛び込み、ほぼ独学でプログラミングスキルを習得する。営業職で培ったコミュニケーション能力を活かして、お客様の想いを形にする提案力で、たった3年で0から50以上のサイト制作・開発をしてきた異例の実績を持つ。

現在は紹介だけで制作の仕事を受けつつ、独学でプログラミングを習得してきた経験を活かし、「0から3ヶ月でプログラミングスキルを習得する」教育コンテンツ「ウェブトレ+」を開校。

IT人材の育成により、社会を豊かにすることを目指す。